

講義名	経済情報処理		
科目区分	学科専門 必修		
担当教員	森澤 龍也		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要			
<p>現実の経済について論じる際には、単なる思いつきや現実の動きを無視した議論を避け、証拠（データや資料）に基づいて議論することが重要である。また、効果的な情報伝達（プレゼンテーション）を行うことで、伝えたい内容を相手に的確に伝えることが必要となる。この講義では、PC教室での実習を通じて、経済分析を行うための基礎となる情報処理能力の修得を目標とする。</p>			

到達目標			
<p>(1) 表計算ソフト（エクセル）の基本的な操作方法（データの入力・計算、表・グラフ作成、関数貼り付けなど）を習得できる。 (2) ワードプロセッサ（ワード）文書の基本的な作成方法（プレゼンテーション資料の作成、表・グラフの貼り付けと整理など）を習得できる。 (3) 経済学の基礎的な概念（単利・複利・割引現在価値など）を習得できる。</p>			

提出課題			
<p>講義時間中に実習課題を提出する必要がある。また、講義期間中に中間確認演習・最終確認演習を実施する。課題は教科書を使用するので、準備しておいてもらいたい。</p>			

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
<p>講評・解説を行う。</p>			

評価の基準			
<p>緊急事態宣言下のオンライン講義に当たり、最終評価は下記のように変更される。 講義中課題：35% 中間確認演習：40% 最終確認演習：25% 欠席・遅刻は減点対象である。</p>			

履修にあたっての注意・助言他			
<p>当科目はPC実習科目であり、教室・設備の制約上、事前登録が必要な科目である。履修に当たっては十分に注意されたい。 講義開始時に出席確認および教材ファイル配布をPCシステムにて行うので、講義開始時間前に入室し、開始時点で各自のPCが使用可能な状況にしておく必要がある。遅刻者に対しては特に考慮すべき理由がない限り、教材を配布しないので、十分に注意されたい。また、USBメモリなどの保存用メディアを持参されたい。 出席重視科目である。また、講義時間外に各自よく復習してほしい。 講義中での私語は厳禁である。質問は遠慮なく尋ねられたい。</p>			

教科書				
『レクチャー&エクササイズ金融論』	森澤龍也	新世社	2200円+税	978-4-88384-222-3

プリント資料及び参考文献				
<p>担当者作成の教材ファイルを配布する。 参考文献については講義中に適時、紹介する。</p>				

授業計画				
<p>緊急事態宣言下のオンライン講義に当たり、下記の授業計画は一部変更される予定である（最終確認演習の追加予定）。第1回の講義資料（オンライン配布予定）を必ずよく読むようにしてもらいたい。</p>				
<ol style="list-style-type: none"> 1 経済情報処理序論 2 グラフ作成の基本 3 確認課題と解説 4 グラフ作成の基本 5 確認課題と解説 6 中間確認演習 7 プレゼンテーション資料の作成 8 プレゼンテーション資料の作成 9 中間確認演習 10 表計算の基本：金利計算 11 確認課題と解説：割引現在価値 12 表計算の基本：割引現在価値 13 確認課題と解説 14 中間確認演習 15 総復習課題の演習 				

授業形態（アクティブ・ラーニング）				
<p>ア：PBL（課題解決型学習）</p>				
<p>イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）</p>				
<p>ウ：ディスカッション、ディベート</p>				
<p>エ：グループワーク</p>				
<p>オ：プレゼンテーション</p>				
<p>カ：実習、フィールドワーク</p>				

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
<p>総予習（教科書講読） 5時間 予習 1.5時間/回×15回 復習 1.5時間/回×15回 試験用学習 10時間</p>				

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
<p>適宜、質問・疑問点を募りながら、PC実習を行う。</p>				

実務経験の有無及び活用				
<p></p>				

備考				
<p>当科目は経済学部経済情報学科の必修科目である。（経済学部経済学科の展開（選択）科目である。） 受講に当たり、教科書を手元に準備されたい。</p>				